

〈会 議 報 告〉

第5回公衆衛生情報研究協議会総会及び研究会

「……衛生行政に関連する公衆衛生・疫学情報に関する研究と会員相互の情報交換と連絡協調を図ることを目的とする」公衆衛生情報研究協議会の第5回総会及び研究会が、1992年1月31日、2月1日の両日、公衆衛生院において開催された。(参加者、180名)

総会では平成3年度事業報告、予算、決算報告及び平成4年度の事業計画と予算案が了承された。つづく研究会では以下の演題が報告され、それぞれについて熱心で率直な討議が行われた。

- 1) 今後の感染症対策と地研の役割。堺宣道(厚生省保健医療局疾病対策課結核・感染症対策室長)
- 2) 厚生行政総合システムの現状と今後の方向について。井上恒男(厚生省大臣官房統計情報部情報企画室長)
- 3) 将来に向けた公衆衛生における情報処理教育。林正幸(国立公衆衛生院保健統計学部主任研究官)
- 4) 新しい情報環境と適応。神沼二真(国立衛生試験所化学物質情報部長)
- 5) 公衆衛生情報と保健所・地研の役割及び衛生行政・住民への環元。星旦二(国立公衆衛生院公衆衛生行政学部公衆衛生行政室長)
- 6) 地方衛生研究所における公衆衛生情報について
 - ① Specimen Bank の隘路について。吉田朝啓(沖縄

県公害衛生研究所長)

- ② 疾病動向システム。池田和夫、荻野周三、神谷信行、倉科周介(東京都立衛生研究所)
- ③ 三重県民を対象とした AIDS 意識調査の集計について。丸山勝巳、大川政、石須哲也(三重県衛生研究所疫学情報課)
- ④ 食中毒・法定伝染病菌同定システムの開発。和田正道(長野県衛生公害研究所感染症部)
- ⑤ パソコンによる温泉分析書発行のシステムの作成とデータベース化。世取山守(栃木県衛生研究所化学部主任研究官)
- ⑥ 飲料水検査データ管理システム。宮崎清(岡山県環境保健センター環境科学部)
- ⑦ 厚生省関係データベースの地域での解析評価について。浜村憲克(和歌山市衛生研究所長)
- ⑧ 保健医療情報システムの導入とその利用。助野典義(宮城県保健環境センター上席主任研究官)

(パネルディスカッション) 「地方衛生研究所における公衆衛生情報とその発展を目指して」方波見重兵衛、荻野武雄、倉科周介、浜村憲克、星旦二、篠原志郎、助野典義。

(参考) 「第5回公衆衛生情報研究協議会定期研究会(資料)」